

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

表2 平成24年9月30日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	11,025	802	11,827	1,244	1,377	2,621	12,269	2,179	14,448
	異性間の性的接触	2,359	650	3,009	368	808	1,176	2,727	1,458	4,185
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	7,489	3	7,492	436	1	437	7,925	4	7,929
	静注薬物使用	35	2	37	25	3	28	60	5	65
	母子感染	14	9	23	5	8	13	19	17	36
	その他 <sup>*2</sup>	235	38	273	49	25	74	284	63	347
	不明	893	100	993	361	532	893	1,254	632	1,886
エイズ患者	合計 <sup>*3</sup>	5,141	321	5,462	773	368	1,141	5,914	689	6,603
	異性間の性的接触	1,774	214	1,988	272	204	476	2,046	418	2,464
	同性間の性的接触 <sup>*1</sup>	2,245	3	2,248	123	2	125	2,368	5	2,373
	静注薬物使用	22	3	25	23	2	25	45	5	50
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*2</sup>	146	20	166	23	15	38	169	35	204
	不明	945	78	1,023	331	141	472	1,276	219	1,495
HIV感染者+エイズ患者	合計	16,166	1,123	17,289	2,017	1,745	3,762	18,183	2,868	21,051
凝固因子製剤による感染者 <sup>*4</sup>		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

\*1 両性間性的接触を含む。

\*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

\*4 「血液凝固異常症全国調査」による2011年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成24年9月30日)	317名
エイズ予防法 <sup>*5</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*6</sup>	674名

\*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*6 「血液凝固異常症全国調査」による2011年5月31日現在の報告数